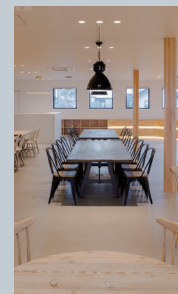


ANNUAL REPORT EPSYLON 2025

医療法人イプシロン
年次資料 2025年度

ANNUAL REPORT



医療法人イプシロン

代表挨拶

TOP MESSAGE

次の10年へ 変化に挑戦し続ける医療法人

「こころ」の健康が、全ての人の幸福で充実した人生の礎です。地域社会と近い場所でメンタルヘルス診療に関わりたい、患者さんに必要な時に待つことなく受診できるようにしたい。こういう想いから、2008年、私たちは茨城県水戸市で小さなメンタルクリニックを始めました。

一人院長として、押し寄せる患者さんの診療に寝食を忘れて取り組みましたが、私一人の小さな力ではとても地域社会のニーズに応えきれませんでした。すぐに受診が数ヶ月待ちとなる状況。目の前の患者だけ診て満足する近視眼ではいけない、「まだ見ぬ多くの患者さんの想いにもお応えしなければならぬ」と考えました。だからこそ、私たちは診療ブースを増やし、チーム医療を推進し、心理相談やデイセラピー、就労支援、訪問看護、産業医などの多岐にわたる医療サービスを増やして、ここまで一心に運営してきました。

こころの問題は複雑です。私たちは、Bio-Psycho-Socialの3つの視点で診療をおこなっています。すなわち、外来診療による医学的アプローチに加えて、心理的アプローチ、社会的アプローチです。症状回復のみならず、心理的な回復、社会的な回復を果して初めて、真のリカバリーに至る。私たちはそう考えます。



茨城県と東京都の13事業拠点から、常時10,000人超の患者さんのこころの健康に携わっています。

いかに診療サービスの質を担保しながら、幅広いこころの健康問題、地域メンタルヘルス課題に取り組むかを模索し続けています。

私たちの主たる活動の場である茨城県では、まだまだ「受診難民」ともいえるべき方々がたくさんおられます。まず供給サイドの我々が解決しなければならない問題と考えます。そのため、東西南北数百kmに及ぶ広い県域をカバーすべく、診療拠点を増やしています。

また同時に、多様な医療ニーズ、例えば、物忘れや依存症、周産期、統合失調症など従来クリニック領域ではフォローしなかった疾患ニーズについても、専門分化させていくべきと考えます。

さらには、より良い医療サービスを提供し、患者さんに安心と信頼を得るためには、人財採用ルートの安定化やスタッフ育成の仕組み、安心して働ける環境整備も推進する必要があります。

「こころの健康を全ての人に」の実現には道半ばですが、引き続き私たちはイプシロングループは邁進してまいります。



高尾 哲也

医療法人イプシロン 理事長

公益財団法人 日本精神神経学会 業務執行理事(財務担当理事)

公益社団法人 日本精神神経科診療所協会 常任理事

日本精神神経科診療所政治連盟 執行役員兼会計責任者

茨城県精神神経科診療所協会 前会長

一般社団法人 水戸市医師会

理事

産業医部会長

一般社団法人 茨城県医師会 産業医委員会

一般社団法人 茨城県メディカルセンター 産業・学校保健委員会委員

茨城県産業保健総合支援センター 嘱託委員

PHILPSOPHY & GUIDELINES

法人理念
行動指針



SECTION
01

Next Page



GREETING

.....

メンタルヘルス事業を通じて
地域No.1の安心と信頼を得る
人財成長する多機能型心療内科グループ

行動指針

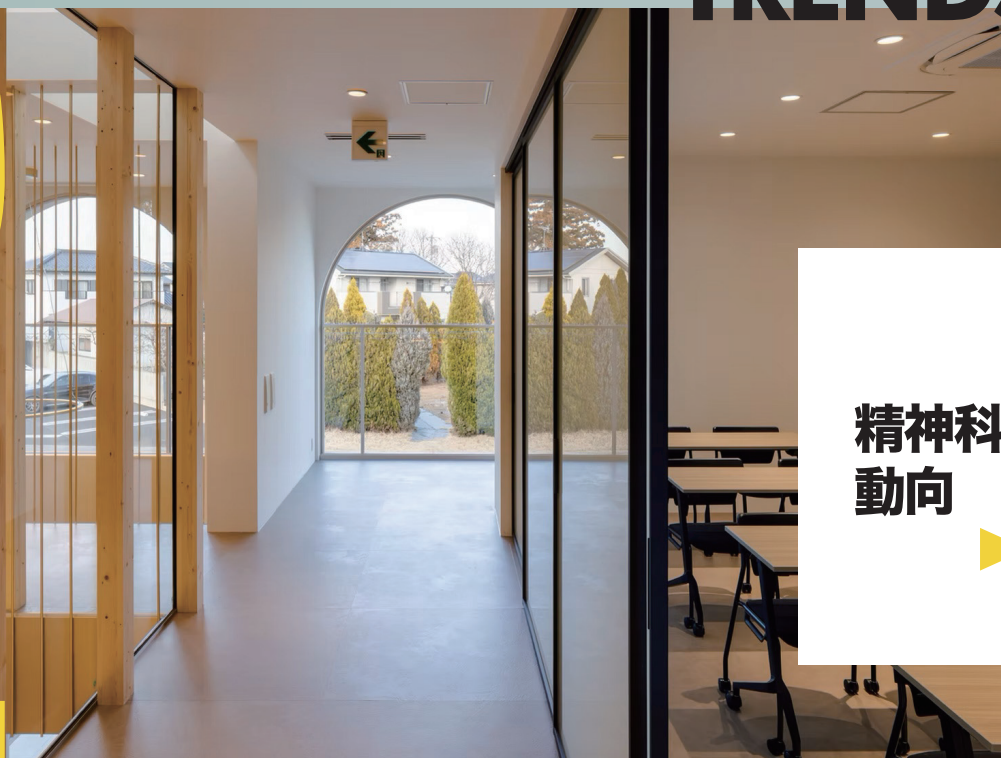
GUIDELINES

- ✓ 「私たちの日常は患者さんにとっての非日常である」ことを意識して、患者さんの目線に立った誠実で思いやりのある診療を行います。
- ✓ 患者さんに質の高い医療を還元できるよう、医療人として常に自己研鑽・自己啓発をし続けます。
- ✓ 多職種が協力・助け合いながら、より成果の高い医療を行います。
- ✓ 既存のやり方に固着せず、常に前向きな姿勢で改善・革新に取り組みます。
- ✓ 自ら問題を提起し、新たな提案やチャレンジをし続けます。

2

SECTION
02

Next Page



TRENDS

精神科医療の
動向

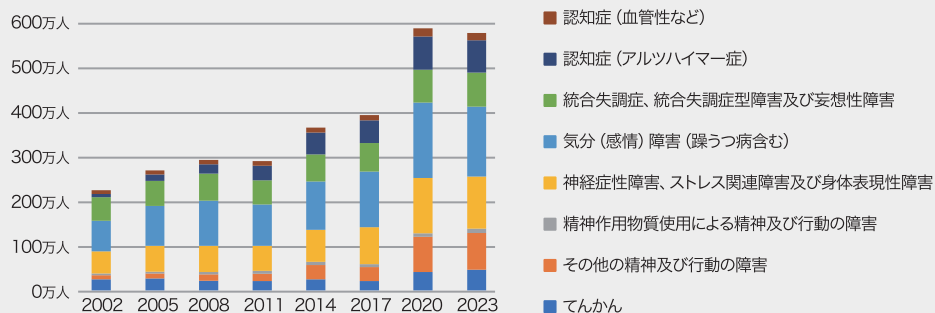


精神科医療の動向

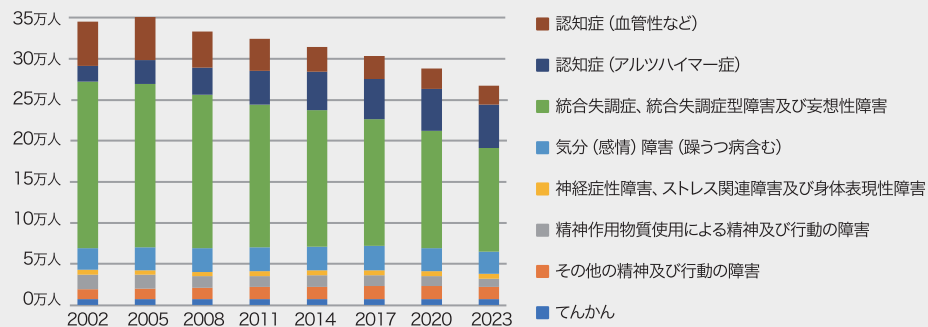
TRENDS

全国の精神疾患患者数は**603.0**万人(厚生労働省2024年調べ)

外来患者数**576.4**万人



入院患者数**26.6**万人

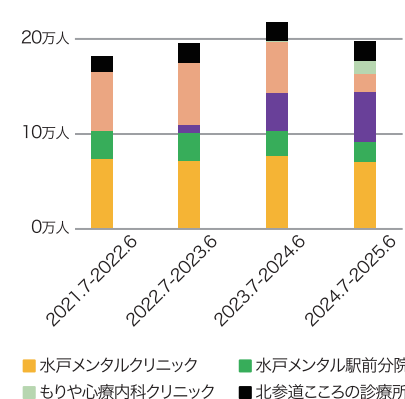


出典：厚生労働省 精神保健医療福祉の現状等について
<https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/001374464.pdf>

イプシロンの動向

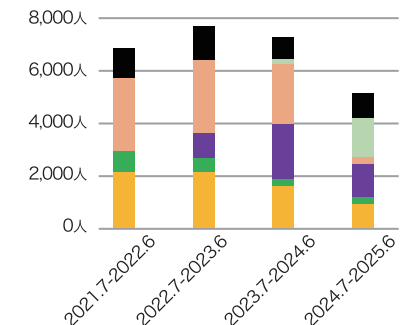
EPSYLON'S TRENDS

総患者数

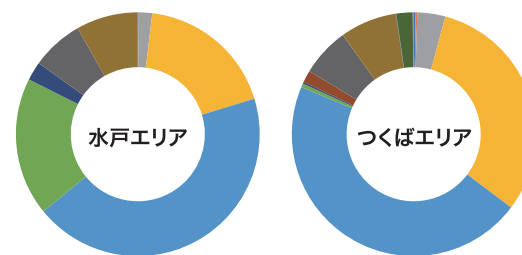


水戸エリア90,341人(初診1,162人) つくばエリア71,067人(初診2,986人) 北参道エリア19,913人(初診922人)

初診患者数



ICD10分類 (2024.7~2025.6)



F00-F09 F10-F19 F20-F29 F30-F39 F40-F49
F50-F59 F60-F69 F70-F79 F80-F89 F90-F99
G30-G32 G40-G47 G90-G99

コード	水戸エリア	つくばエリア
F00-F09	0.1%	0.3%
F10-F19	0%	0.2%
F20-F29	1.8%	3.7%
F30-F39	18.4%	31.1%
F40-F49	43.8%	46.1%
F50-F59	18.3%	0.5%
F60-F69	2.5%	0.3%
F70-F79	0.0%	1.6%
F80-F89	6.9%	6.5%
F90-F99	8.2%	7.5%
G30-G32	0%	0.1%
G40-G47	0%	2.2%
G90-G99	0%	0.1%

OVERVIEW

法人概要



SECTION
03

Next Page



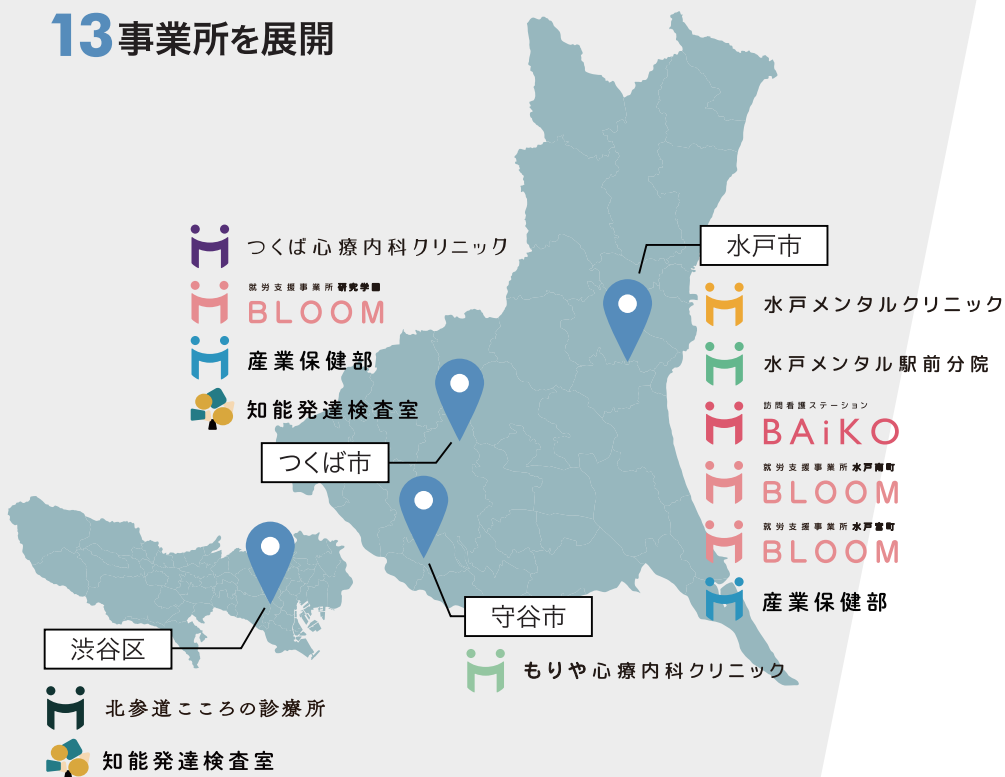
沿革

DEVELOPMENT

2008年09月	水戸メンタルクリニック開院（水戸市宮町）
2014年07月	水戸メンタルクリニックを梅香に移転、既存クリニックは分院に変更
2016年09月	つくば心療内科クリニック開院（つくば市研究学園）
2018年07月	就労支援事業所ブルーム水戸梅香開所（水戸市梅香）
2020年01月	精神科訪問看護ステーションBAiKO開所（水戸市梅香）
2020年09月	就労支援事業所ブルーム水戸宮町開所（水戸市宮町）
2021年04月	北参道こころの診療所開院（渋谷区千駄ヶ谷）
2023年04月	つくば心療内科クリニック本院開所（つくば市遠東）既存クリニックは分院に変更
2024年06月	もりや心療内科クリニック開所（守谷市中央）
2024年11月	つくば分院を本院に統合、呼称をつくば心療内科クリニックに変更
2025年03月	知能発達検査室 つくば研究学園 開所（つくば市遠東）
2025年08月	知能発達検査室 東京千駄ヶ谷 開所（渋谷区千駄ヶ谷）

事業所一覧 OFFICE

茨城県と東京都で
13事業所を展開

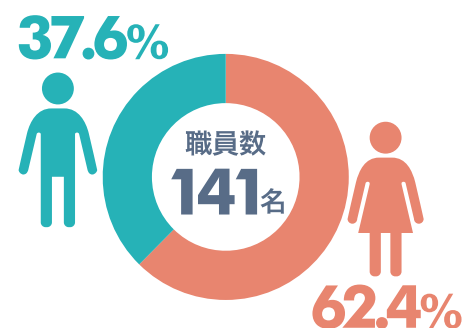


事業内容

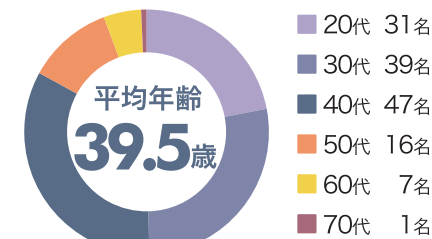
精神科クリニック 精神科デイケア 訪問看護 産業保健 知能検査 カウンセリング 就労移行支援 就労選択支援

数字で見るイプシロン EPSYLON IN FIGURES

職員数 男女比



平均年齢 年代別人数



職種別人数

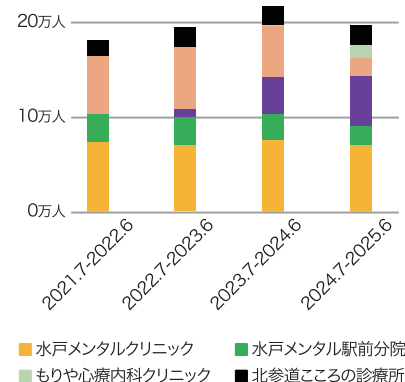


2025年10月時点

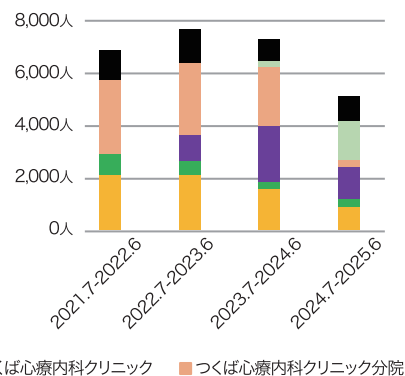
コンテンツ別利用者数

NUMBER OF USERS

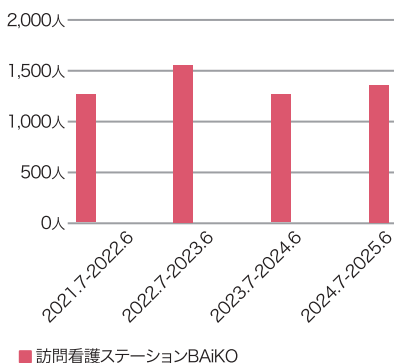
総患者数



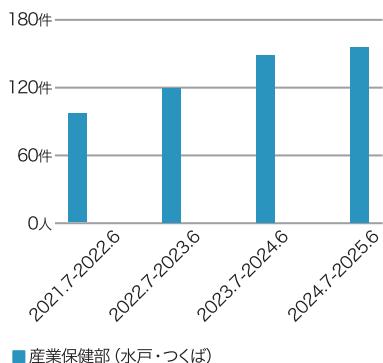
初診患者数



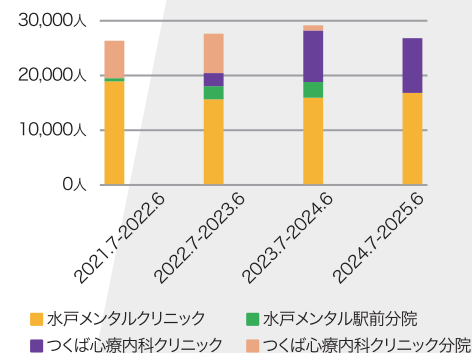
訪問看護利用者数



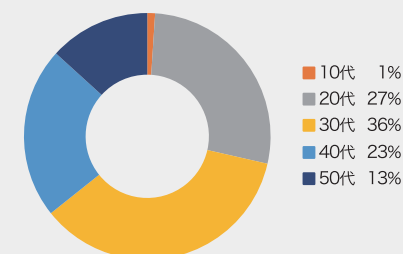
産業保健サービス契約数



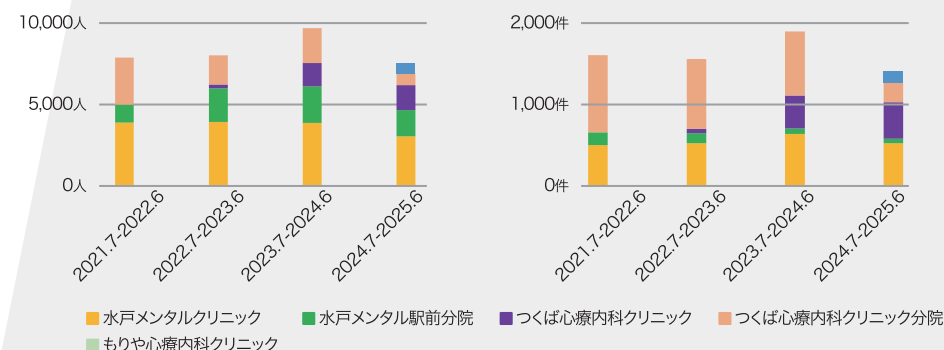
デイケア利用者数



デイケア利用者年齢割合



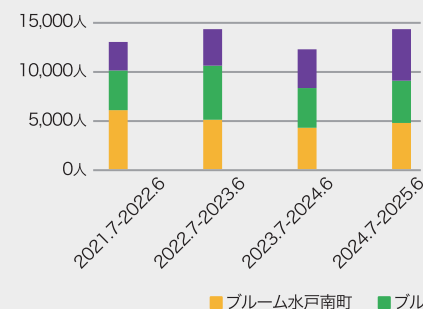
カウンセリング件数



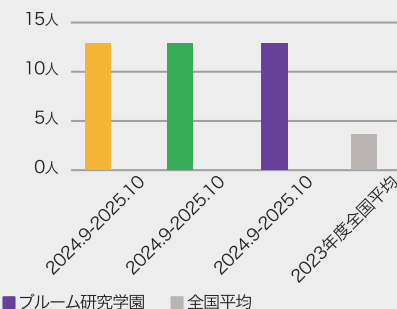
心理検査数



就労移行支援利用者数



就労移行支援就職者数



チームで支える SUPPORTING AS A TEAM

連携しやすい組織作り。シームレスなサービス。

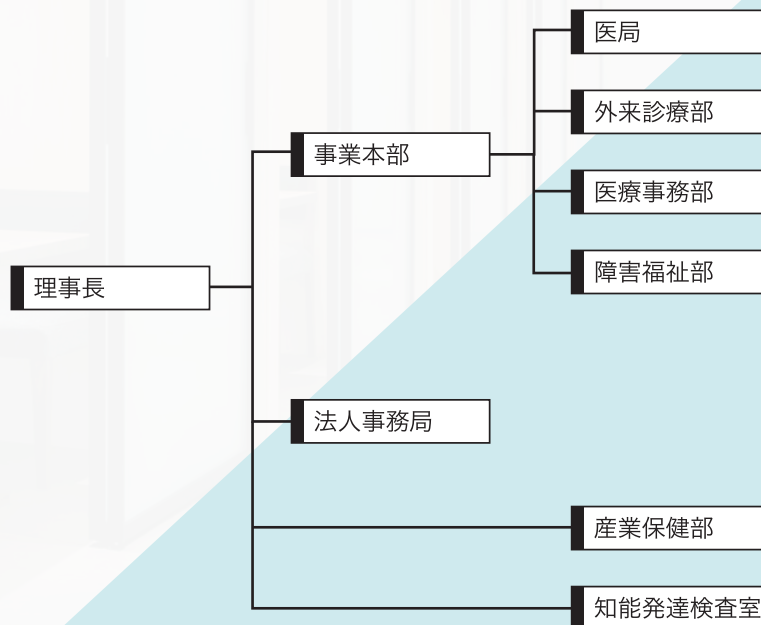
事業本部を中心に、法人の精神医療・障害福祉事業の患者満足度向上や事業の拡大など、根幹になる部分を運営しています。

外来診療部は、外来の職種をひとまとまりにし、医療連携がしやすい形にしています。外来の看護からデイケアや心理に情報連携をし、シームレスな医療を提供できるように整えています。

また病診連携の要になる医療連携もこの部署に位置し、すみやかな入院連携や初診の受付を実現しています。

組織図

ORGANIZATION CHART



チーム医療

TEAM MEDICAL CARE

総合力で患者さんの真のリハビリを目指す。

チーム医療とは、医師のみが単に外来診療を行うのではなく、専門職種が集い、様々な医療コンテンツを走らせながら、多職種の目で患者様と接することで、その患者様のこころの問題に横たわる諸問題の解決を図るためにあるのだと私たちは考えます。

医師は医師のみが出来ることに注力しつつ、それぞれの専門職や専門機能をもったコンテンツへのガイド役・橋渡し役にもなります。

単に症状の改善を目指すのではなく、診療チームの総合力で、患者さんの真のリハビリを目指す。私たちはそういう目線を大事にしながら、日々の診療に取り組んでいます。休職中の患者さんにデイケアの利用を薦め、リワークプログラムで状況改善をしたり、日常生活に悩みを抱えている患者さんには訪問看護を案内したりなど、患者さんの状況や特性に合わせた医療コンテンツへガイドすることで症状改善だけではなく社会復帰への橋渡しをしています。

多職種連携

INTERPROFESSIONAL WORK



医師を中心に、看護師、心理士、作業療法士、精神保健福祉士などの専門職が患者さんのお悩みに合わせたガイドとサポートを実施。

外来診療の力

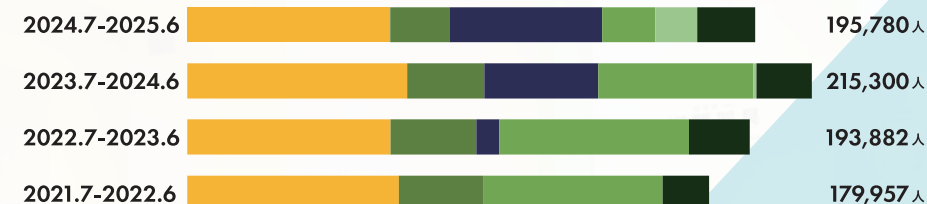
OUTPATIENT TREATMENT

社会インフラとしての使命と責任。

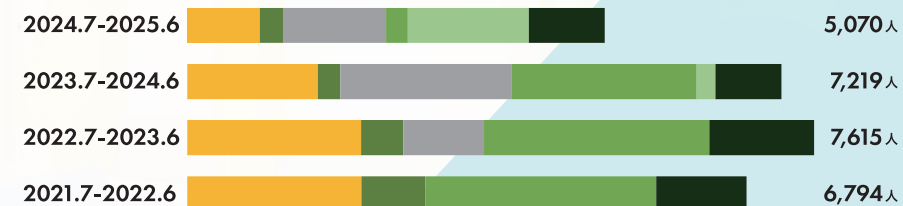
早期発見、早期治療の原則を持ち出すまでもなく、地域で受診を希望する方を可能な限り早く診察につなげる。それは身近な存在であるクリニックの社会的使命とも言えるものです。

一つ一つの診療を丁寧に積み上げ、地域での受診ニーズに応え続けた数字。とりわけ、年間の初診患者数が約5,000人であったことは、特筆に値するもので、これこそがまさに、私たちが社会インフラとして地域で存在する価値証明と考えます。

延べ受診者数



初診患者受入数



■ 水戸メンタルクリニック ■ 水戸メンタル駅前分院 ■ つくば心療内科クリニック ■ つくば心療内科クリニック分院 ■ もりや心療内科クリニック ■ 北参道こころの診療所

患者満足度調査 ※10点満点評価 (2024.7-2025.6の平均)



デイケアの力

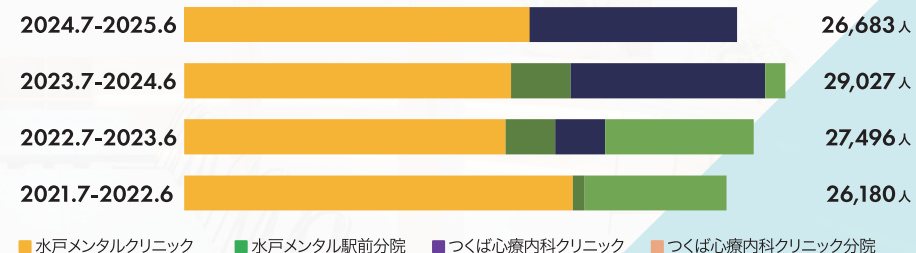
PSYCHIATRIC DAYCARE

人それぞれの生き方を支援する。

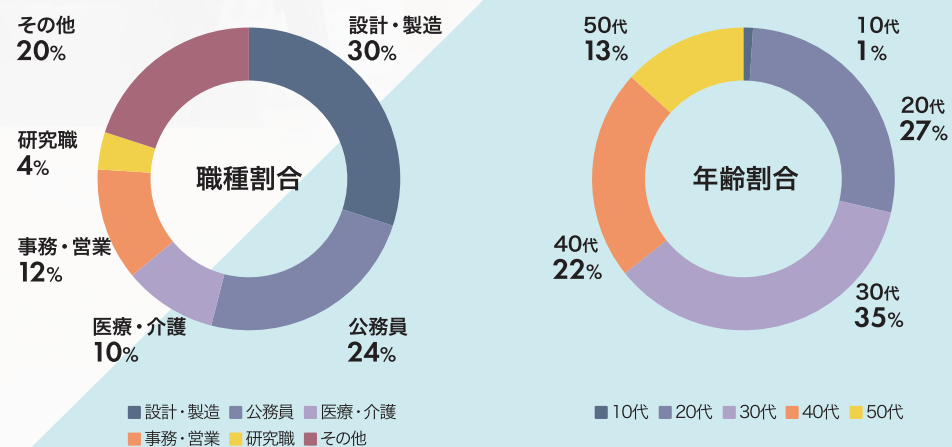
集団で行う社会機能回復の治療プログラムのことを、診療報酬算定においては「精神科大規模デイケア」と呼ばれています。私たちは、この集団治療プログラムをデイセラピーと呼びます。すなわち、患者さんが主体的に治療に参加し、医療者はそれをサポート、ファシリテートしていくという意志の現れです。

デイセラピーは、同じ疾患構造、同じ目的を志向したメンバーが集い、集団的に社会機能不全や心理的困難性からの回復を目指すもの。例えばうつ病の方が休職からの安定復帰を目指すリワークプログラムが代表的です。

延べ利用者数



利用者属性



訪問看護の力

VISITING NURSING

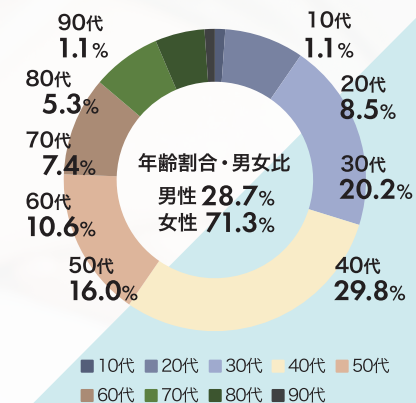
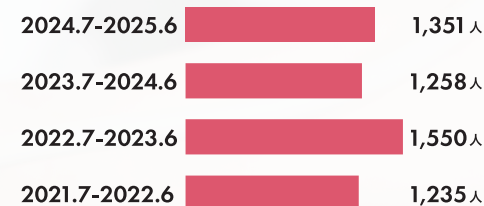
地域社会の患者様に寄り添う医療提供。

精神科訪問看護ステーションBAiKOは、水戸メンタルクリニックがある水戸市を対象エリアとしています。

精神疾患のある方もしくは心のケアが必要な方に対して、看護師が直接自宅へ訪問し、病状の管理から正しい日常生活を送るためのサポートまでトータルの支援を行っています。

精神科訪問看護は、病状の観察・服薬管理・日常生活援助などを行い、利用者一人ひとりが自分らしい満足した生活を送るための長期的視点をもつ営みです。

延べ利用者数



傷病割合

傷病名	割合	傷病名	割合
統合失調症	28.9%	複雑性PTSD	5.3%
うつ病	21.1%	パニック障害	2.6%
双極性障害	13.2%	強迫性障害	2.6%
不安障害	10.5%	情緒不安定性	2.6%
知的障害	10.5%	パーソナリティ障害	2.6%
注意欠陥多動性障害	10.5%	気分変調症	2.6%
発達障害	7.9%	神経発達症	2.6%
自閉症スペクトラム障害	5.3%	身体化障害	2.6%

臨床心理の力

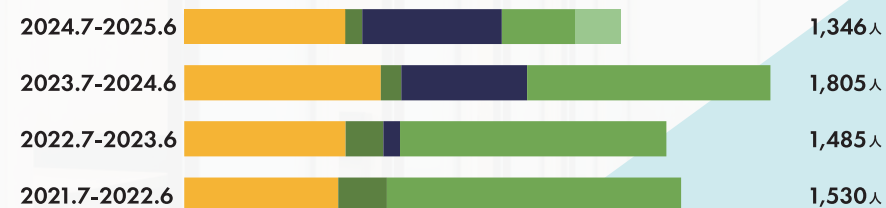
CLINICAL PSYCHOLOGY

こころの回復を目指し、伴走する臨床心理。

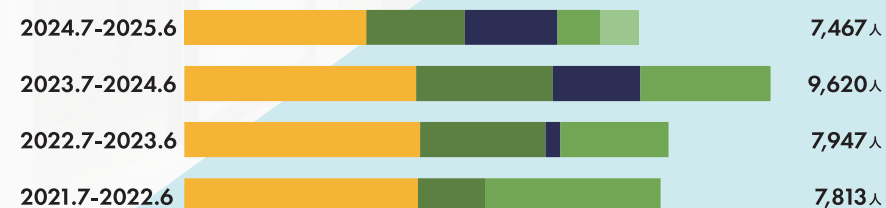
科学の一分野である精神医学と心理学は似ているようで異なります。大まかにいって、マスメディアから普遍の科学的事実を積み上げてEvidence-basedに臨床を行うのが精神医学に対して、1対1の心理相談を通じて心理的援助方法を実践的に経験的に、Narrative-basedにクライアントと向き合うのが心理学です。

私たちは、この精神医学と心理学を日常の診療場面で、常に補完し合いながら、患者さんのこころの健康づくりに取り組んでいます。

心理検査延べ利用者数



カウンセリング延べ利用者数



■ 水戸メンタルクリニック ■ 水戸メンタル駅前分院 ■ つくば心療内科クリニック
■ つくば心療内科クリニック分院 ■ もりや心療内科クリニック

就労支援の力

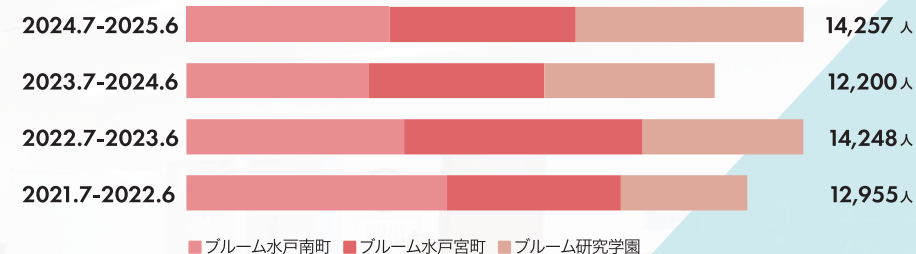
EMPLOYMENT ASSISTANCE

一人ひとりの特性に寄り添う支援。

就職率の向上の為、多職種による面談に力をいれています。精神保健福祉士による面談をもとに、患者様の状況や特性を理解し、最適な訓練プログラムを提供していきます。看護師による体調管理や、就労支援員による就職情報の共有と企業訪問。訓練だけではなく就職活動のしやすさもブルームの特徴です。

精神障害をお持ちの方が平均14.3名、就職しています。また6か月間の定着率も平均84.6%と高水準を満たしております。全国で約4割の事業所が就職者が出ないという状況の中、母体が精神科クリニックだからこそ出来るきめ細やかなサポートが年間就職数の向上や定着率に寄与していると考えられます。

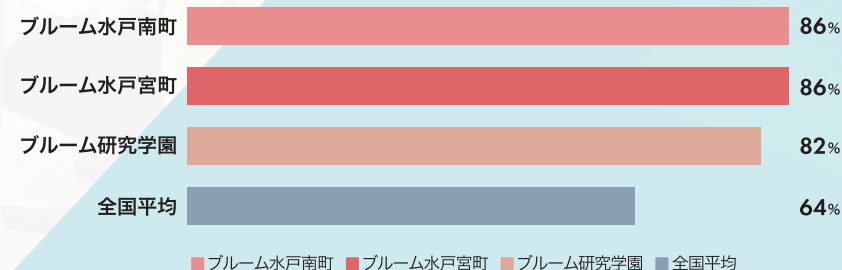
延べ利用者数



就職者数 (2024.10-2025.9)



6ヶ月定着率 (2023.10-2024.9)



産業保健の力 INDUSTRIAL HEALTH

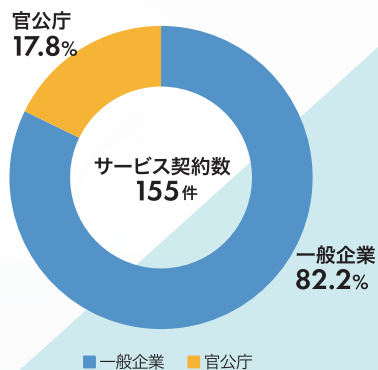
職場を支える企業メンタルヘルス。

産業医の役割は、「継続就労できるように支援する」こと。個人の問題より仕事の問題を優先することが必要です。本人が職場や業務に適応できる状態かどうかの判断が重要と考えます。従業員の心身状態や働き方を確認して、このままの就労状態が問題ないかを適切に判断すること。それが出来るのは産業医しかいません。一般企業の人事労務の経験を活かしながら、産業医の知識や経験による最適な支援を行ってまいります。

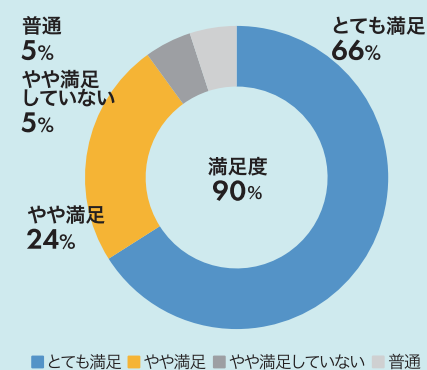
産業保健サービス契約数



契約先属性



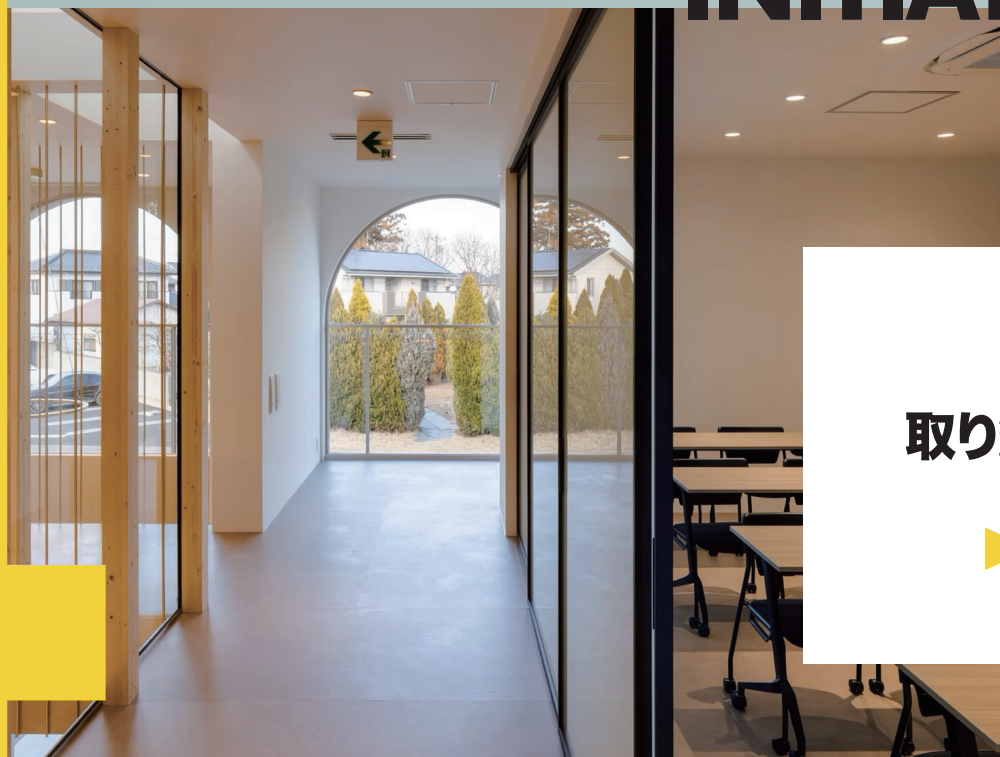
満足度調査



SECTION
04

Next Page

INITIATIVES



取り組み

患者様のユーザービリティ向上のため、スマートフォンで予約ができます。ご自身の予約日の確認や予約日の変更もLINE公式アカウントから可能です。



クレジットカードやQR決済など、様々な
キャッシュレス決済に対応。患者様のご要
望にお応えした決済システムです。



マイナンバーカードを保険証として利用
いただくことで、より質の高い医療の提供
が可能です。



薬の飲み合わせに配慮した服薬指導や薬局での待ち時間短縮など医療を受けるときの安心感が向上します。(※マイナンバーカード読み取り時に情報提供に同意された患者様のみの対応)



人材採用プロセス

RECRUITMENT PROCESS

ミスマッチしない人材獲得のために

現場見学やカジュアル面談を取り入れ、『まず職場を肌で感じてみたい』に応え、間口を広く設けています。求職者と法人のマッチングを調査するため、ミキワメなどの適性検査ツールを導入し、お互いにとってよい形になるよう配慮をしています。求職者が法人を知る機会、法人が求職者を知る機会を大切にし人材の獲得に向けて試行錯誤を行っています。



応募・選考の流れ



人事評価とキャリア制度

INITAITIVES

人事評価制度

- ✓ 法人理念と行動方針の浸透
- ✓ 業務への意欲やチャレンジを評価に反映

法人の成長に合わせて制度を導入・修正して運用を行っています。



キャリア制度

当法人では一般的なキャリアステップだけではなく、やりたいことを叶えるためのキャリアパスも実績があります。医療事務から就労支援の支援員に。デイケアスタッフから外来スタッフへなど活躍の場を広げています。



院内カンファレンス

3rd FRIDAY CONFERENCE

自己研鑽のために。

心理士・看護師・作業療法士など職種での発表や、事業所毎の発表を行っています。
また、外部講師を招いて専門的なケースや新たな治療コンテンツの学びも得ています。

2024年7月～2025年6月開催分

第39回 2024年7月19日

就労移行支援の概要とケース報告

臨床心理士 増田 / 支援員 西島

第40回 2024年9月20日

休職を繰り返しデイとカウンセリングを利用しているケース

臨床心理士 真田

第41回 2024年10月18日

精神科クリニックにおけるPSWの役割

精神保健福祉士 奥村

第42回 2024年11月16日

精神科デイケアで行っていること（作業療法士の視点から）

作業療法士 坂場

第43回 2024年12月20日

就労移行支援の概要とケース報告

支援員 荒川

第44回 2025年2月21日

児童思春期精神医療研修・引きこもり対策研修」の報告

臨床心理士 岡田第45回 2025年3月21日

当院における医療観察制度の受け入れ状況

看護師 高尾 / 看護師 中郡

第46回 2025年4月18日

企業との架け橋を目指す医療リワーク

精神保健福祉士 早船

第47回 2025年5月16日

就労移行支援の概要とケース報告

臨床心理士 須藤

第48回 2025年6月20日

対人場面でのストレスや孤独感から、ODや飲酒を

繰り返す統合失調症とアルコール使用障害の30代

女性へのカウンセリング

臨床心理士 真田

地域貢献

CONTRIBUTION TO THE COMMUNITY

地域精神医療サービス向上のために。

病診連携会議

- ☐ 県立こころの医療センター主催 地域連携会議
- ☐ 筑波大学附属病院主催 地域連携会議
- ☐ 精神医療審査会 会議・調査

外部講師活動

- ☐ 外来看護講師（看護師 高尾慎二）
- ☐ 医療事務講師（医療事務 古谷美佐子）
- ☐ 外来精神科医師講師（医師 高尾哲也）

医療観察法

- ☐ ケア会議参加
- ☐ 連絡協議会参加
医師：高尾哲也 / 看護師 中郡美紀

心理実習生受け入れ

- ☐ 筑波大学心理学系大学院
- ☐ 茨城大学心理学系大学院
- ☐ 茨城県立医療大学作業療法学科
- ☐ 常磐大学心理学系大学院
- ☐ 聖徳大学心理学科大学院

心理研修会開催

- ☐ 事例検討会WAIS-IV WISC-V 参加104名
- ☐ WISC-V解釈と支援 参加159名
- ☐ WISC-V読み書きとアセスメント 参加247名

TOPICS

注目記事



SECTION
05

Next Page



INITIATIVES

.....

知能発達検査室が開所しました

TOPICS

可能性を可視化する 知能検査専門事業所。つくば市と渋谷区にそれぞれ開所。

5歳から中学3年生（15歳）の児童を対象に知能発達水準を基本とした知能検査や発達障害などの検査を複合的に実施、こころのお悩みの支援を行っています。



室長 井上 操

WAIS知能検査の臨床的活用に関する研究やWISC知能検査等の心理検査を中心としたアセスメントの研鑽を積みながら、成人だけでなく児童生徒への臨床を行っている。つくば心療内科クリニックでは知能検査を専門とした心理士として活躍、現在までに2,680件以上の知能検査を実施している。

また地域の教育委員会にて特別支援研修講師を務め、地域の精神医療の向上に寄与、現在は知能発達検査室の室長を務め地域の児童の学習障害や発達障害等のお悩み事に従事している。

顧問 大六一志

大六一志先生は、日本の知能検査の第一人者で知能検査WISC-V日本版の制作者。心理学者、博士、公認心理師、臨床発達心理士、臨床心理士、特別支援教育スーパーヴァイザーの資格を持つ。知能検査や自閉スペクトラム症に関するアセスメントの専門家として知られる。特に、知能検査の結果を実際の教育や支援に活用することに力を入れており、全国各地で講演活動を行っている。また、子どもから成人までを対象とした臨床にも従事している。



就労選択支援がはじまりました

TOPICS

自分に合った支援を受けるための最初の窓口

2025年10月より、ブルーム水戸宮町にて就労選択支援が始まります。「どの働き方や制度が自分に合っているか」を見極めるための、短期的な判断・選択支援です。対象者は2025年10月以降、障害をお持ちの方で、障害福祉の支援や就職に悩んでいる方、初めて就労惠贈支援B型の利用を考える方、現在のサービスがご自身にあっているか見直したい方など。

サービス提供の1ヶ月間、私たちはあなたの職業的な強みや課題を丁寧に評価し、関係機関とも連携しながら、あなたに最も合った次のステップ（一般就職、就労移行、就労継続など）を具体化します。



マイナンバーカード利用率向上

TOPICS

医療DX。地域の精神医療発展のため。

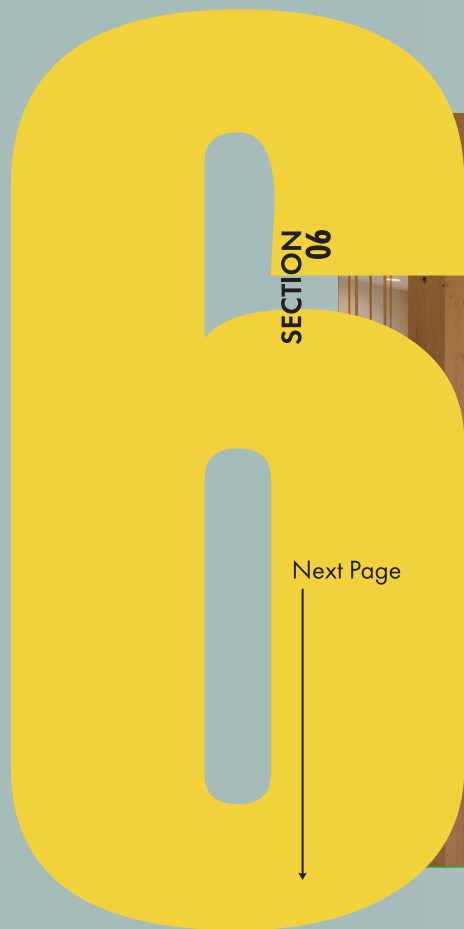
各クリニック外来やデイケアで導入されているオンライン資格確認の利用率向上を目指しています。地域や医療コンテンツで利用率も異なりますが徐々に利用率は徐々に向上しています。

全国平均は34.3%であり、法人内クリニックは健闘している数値となっています。

院内での案内を強化しさらなる利用率向上を目指します。



事業所名	2025.06
水戸メンタルクリニック	49%
水戸メンタル駅前分院	50%
つくば心療内科クリニック	60%
もりや心療内科クリニック	68%
北参道こころの診療所	43%



SECTION
06

Next Page



INTERVIEW

インタビュー



院長インタビュー

INTERVIEW

院長からのことば「至誠一貫」



もりや心療内科クリニック
院長 川合 秀明 先生

Q 精神科の医師になった理由は？

学生の頃は「人の役に立ちたい」という思いから医師を志しました。当初は手術をする先生の姿に憧れ、外科系にも関心をもっていました。

しかし研修医として救急外来を経験する中で、苦しい症状を訴えて受診されても身体的な検査では異常が見つからず、「精神的なもの」として帰宅となる方が少なくない現実に直面しました。

そのような経験から精神科に興味を持ち、実際に2か月間の精神科研修を行いました。

精神科では、症状・疾患・治療法の多様さ、そして病態の奥深さに驚かされました。身体科と違い、検査や治療効果を数値で明確に示すことは難しいですが、その分、時間をかけて関わる中で症状が少しずつ緩和していく様子を間近に見ることができました。患者様一人ひとりの生活背景や環境、ストレス要因が異なる中で、丁寧に傾聴し、悩みに寄り添い、生活を少しでも送りやすくする支援をしている先生方の姿に強く感銘を受け、精神科医を志す決意を固めました。

Q 専門領域を教えてください。

初期臨床研修を終えた後、昭和大学精神神経医学講座に入局し、昭和大学附属烏山病院に勤務しました。同院は精神科単科病院であり、スーパー救急病棟から慢性期、認知症病棟まで幅広い診療を行っており、思春期から老年期まで体系的に経験することができました。

特に、発達障害専門外来や精査入院、デイケアでの診療に多く携わり、発達障害の特性をもつ方々と関わる機会を重ねてきました。生きづらさや葛藤を感じる思春期・青年期の方々が、発達特性を背景に不安や抑うつといった二次障害を抱えることも多く、その治療とサポートに力を入れてきました。

二次障害の軽減には、まず発達特性を理解することが何より大切だと考えています。苦手との向き合い方や支援の活用方法を一緒に考え、少しでも安心して日常生活を送れるようサポートしていきたいと思っています。

Q 診療へのこだわり、目指すクリニックの在り方とは？

精神科への受診には「怖い」「自分なんか行っていないのか」といった不安を感じる方が多くいらっしゃいます。実際、日常生活に支障をきたしていても、そのような思いから受診をためらう方は少なくありません。

しかし、精神科に限らず、どのような病気でも早期に介入することが最も重要です。早い段階で適切な対応や治療を行うことで、症状が軽く済む可能性が高まります。

それにもかかわらず、「どんなところか分からない」「行くのが怖い」といった理由で受診が遅れてしまうのは、患者様にとって大きな不利益です。

私は、そうした不安を少しでも和らげ、「こころの悩みを気軽に相談できる場所」にしたいと考えています。安心して話ができる環境を整え、患者様一人ひとりに寄り添いながら、丁寧であたたかい診療を行っていききたいと思っています。



法人本部 HEADQUARTERS

〒310-0022 茨城県水戸市梅香1-2-50

029-246-6033

Webサイト

法人代表
<https://epsilon.jp>



医師採用
<https://epsilon.jp/doctor/>



スタッフ採用
<https://epsilon.jp/recruit/>



医療法人イブシロン